

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 27 号 (2025 年度)



Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.27(for the fiscal years of 2025)

はじめに

但東地域の地域づくりにおける当館の在り方が大きなテーマとなっています。

前年度から、但東の地域づくりを進めるにあたっての当館の活用可能性を検討する取り組みを続けてきました。アンケートの結果では、多くの方に当館の必要性を示していただき、ワークショップを通して、当館を活用した具体的な取り組みの案も出していただきましたが、まだまだ実際の動きとしては現れてこないのが実態です。また、当館独自の取り組みとして、今年度から地域で活動されている方の作品展示や、中庭を地域の方のガーデニングに開放するなどし、気軽に地域の方に来ていただくように努めましたが、大きな効果が現れたとは言えません。今後もより一層の検討をしていく必要があります。

引き続き、魅力的な展示やイベント等を企画し、多くの方に来館いただけるように努めるとともに、地域の人々が気楽に来館いただけるような取り組みに努めていきたいと思いをします。

おわりに、今年度当館の運営にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2026 年 3 月 31 日

日本・モンゴル民族博物館

館長 桑 井 弘 之



目 次

I	2025 年度概要	・ ・ ・ ・ ・	3	3	入館者状況
II	展覧事業	・ ・ ・ ・ ・	3	4	施設管理
	1 常設展			5	外部役員等就任状況
	2 企画展			6	博物館ネットワーク
				7	博物館日誌抄
				8	2025 年度来館者アンケート
III	資料収集保存事業	・ ・ ・ ・ ・	10	9	豊岡市立日本・モンゴル民族博物 館の設置及び管理に関する条例
	1 資料の貸出			10	施設概要
	2 資料の燻蒸			11	交通案内
				12	利用案内
IV	普及教育事業	・ ・ ・ ・ ・	11		
	1 出前授業				
	2 来館受入授業				
	3 体験教室の開催				
	4 イベントの開催				
	5 トライやる・ウィークの受入れ				
	6 情報の発信と公開				
V	国際交流・他機関等との連携	…	17		
	1 国際交流				
	2 他機関等との連携				
VI	地域との連携強化	・ ・ ・ ・ ・	18		
	1 「モンゴル博物館に関する住民 ワークショップ」の実施				
	2 多様性のある地域社会について の講演会の実施				
	3 地域連携事業の展開				
VII	管理運営	・ ・ ・ ・ ・	22		
	1 組織・職員				
	2 予算の概要（決算額）				

I 2025 年度概要

新型コロナウイルス後も伸び悩んでいた来館者数が今年度は7,482人と、昨年度に比べ1,104人(17.3%)増となり、ようやく回復傾向を感じられるようになってきた。しかし、まだまだ以前の賑わいには程遠い状況に変わりはない。今後も一層の集客増に努めていかなければならない。

加えて、但東地域の地域づくりにおける当館の在り方が大きなテーマとなっており、但東の地域振興のための博物館の活用可能性を探るため、昨年度に引き続き住民ワークショップを通して検討を行った。

そのような中で、そもそも但東地域の住民の方々の来館が少ないという実態から、但東地域の住民を対象に地域連携事業として、当館の無料スペースでの作品展示やガーデニングに中庭を開放するなどの具体的な取り組みを通して地域住民の来館増を試みた。

例年の企画展については、二つの展覧会を企画した。観覧者参加型の展示も取り入れて開催し、多くの方に来館いただいた。

出前授業(一部来館授業)は、例年どおり豊岡市内の全小学校で実施したが、小学校の統合により実施校数は減少傾向にある。また、近隣の京都府の小学校にも来館授業として活用いただいている。

例年実施している「まるごとモンゴルひなまつり」は、名称を「モンゴルまるごとフェス」と改め、3月7日と8日の2日間にわたって開催した。当日のワークショップは、地域で活動されている方の参加の協力もあり、多彩な内容で実施できた。

なお今年度は、昨年度締結した国立民族学博物館との「基本協定」に基づき、当館学芸員がモンゴル国での調査に同行する機会を与えていただき、また収蔵資料の調査においては、国立民族学博物館の協力のもとロシア科学アカデミーのスルンハンダ博士にも参加いただくなど具体的な連携も見られた。

2026年11月で当館も開館30周年を迎える。来年度は、30周年を記念すべき事業の展開を中心に、関係機関との連携や地域との連携を充実し、取り組みの展開を図っていく必要がある。

II 展覧事業

1 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、本館の①「たんとうの森」、②「アジアの歴史と風土」、③「モンゴル草原のいのり」、④「モンゴル草原の暮らしと文化」及び伝承文化体験交流館の⑤「豊岡市但東の歴史と暮らし」で構成されている。

①たんとうの森・・・人工樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示

②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示

- ③モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ④モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ⑤豊岡市但東の歴史とくらし・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

常設展については、部分的な展示替えにとどめているが、来館者の動線やイベント時の使いやすさ、不自然な配置の修正等を考慮した配置換えを心掛けている。

なお、3年間にわたり実施してきた収蔵品調査の結果等も踏まえ、常設展の見直しも検討したいと考えている。

(3) 屋外展示

- ① 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体
- ② オボー（複製）
モンゴルで建てられる精霊の降りてくる目印で、しばしば道しるべや境界標識の役割を兼ねている。
- ③ 赤坂古墳群第 1 号墳（復元）
豊岡市但東町畑 横穴式石室
- ④ 道路元標
道路の起終点を示す標識で、資母村、高橋村各 1 基を展示
- ⑤ 「環界・ⅣΦ300cm87」
御影石製彫刻 1988 年、豊岡市但東町畑山出身彫刻家、橋本清孝氏寄贈

(4) 展示解説の積極的な推進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

(5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、子どもたちも参加できるワークショップなども開催している。

また、企画展に関しても作品を観覧するだけでなく、観覧者が一つの作品の制作に参加するような企画も行った。

2 企画展

(1) 第94回企画展「現代美術家 大村雪乃 シールアートの世界から」

会期：2025年7月12日～9月7日 50日間（観覧者数1,932人）

大村雪乃氏は、見慣れた文房具である円形のシールを重ね合わせてアート作品を生み出す、いま注目の現代美術家である。本展では、代表作「奇跡の夜景」をはじめ、フランス・ノートルダムのステンドグラスなど35点を展示した。

また、4,000mm×1,350mmの巨大なモンゴル国スフバートル広場の下絵に、観覧者自らが丸シールを貼っていき、一つの作品として完成させていくコーナーも設けた。



観覧者による巨大シールアート製作

企画展初日の7月12日には、大村氏自らによるアーティストトーク「ゆきの先生が語るシールアートの世界」（参加者8人）と、ワークショップ「ゆきの先生と丸シールアートを体験」（参加者24人）を開催した。大村氏の解説や指導を受け、大人から子どもまで丸シールアートの魅力や作品制作を楽しんだ。



(2) 第 95 回企画展「旧高橋村『大兵庫開拓団』が入植した地にくらした人びと—モンゴル遊牧民、漢人農民そして日本人開拓農民—」

会期：2025 年 9 月 13 日～12 月 9 日 76 日間（観覧者数 1,600 人）

第二次世界大戦中の 1944 年春、高橋村（現在の豊岡市但東町高橋地区）から約 500 名が「第十三次大兵庫開拓団」を結成し、当時日本の支配下にあった「満州国」に移住したが、1945 年 8 月、「満州国」へのソ連軍侵攻を受け、逃避行の末約 300 名が集団自決をする悲劇が生まれた。

彼らの入植地は、かつてモンゴルの人々が牧草や魚の採取地としてゆるやかに利用していた地域であった。

本展では、この地にくらしてきた現住諸民族の歩みに注目するとともに、高橋村の開拓団が入植した経緯とその生活について、資料と写真からあらためてふり返った。



第95回企画展

旧高橋村「大兵庫開拓団」が

入植した地にくらした人びと

—モンゴル遊牧民、漢人農民そして日本人開拓農民—




2025年

9月13日[土]

↓

12月9日[火]

関連イベント／ギャラリートーク

写真家がみた元「大兵庫開拓団」入植地の現在

- 日時：2025年10月26日[日] 13:30～15:00
- 講師：宗景 正兵（写真家、資料・写真提供者）
- 定員：40人（電話かメールで10/23日までに事前申込みが必要）
- 場所：展示会場（入館料が必要）

※展示担当者による解説の後、宗景氏にお願いいたします。

 **豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館**

午前9時半～午後5時（但し入館は午後4時半まで）

休館日：水曜日

後援：一般財団法人 兵庫県学校厚生会

協力：宗景 正（写真家）、高橋村満州開拓団の歴史を語り継ぐ会、満蒙開拓平和記念館

QRコード

Facebook

Instagram

 Toyooka Aki Grassen 2025

参加費 無料

10月26日 ギャラリートーク「写真家がみた元『大兵庫開拓団』入植地の現在」(参加者18人)を開催した。



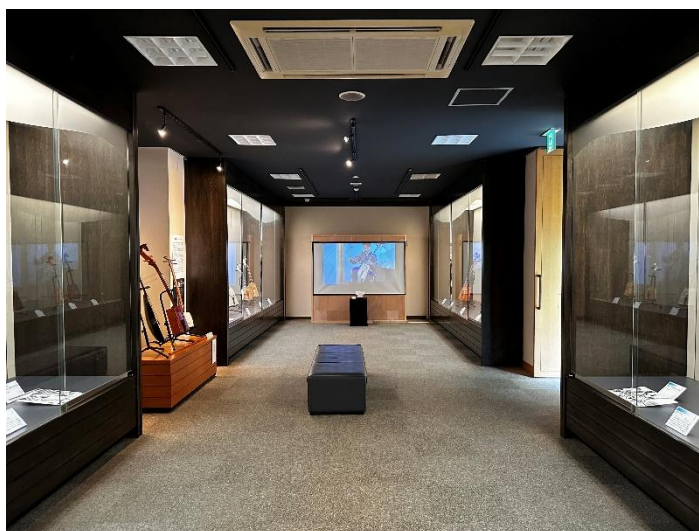
3 その他展示

(1) 館蔵品展「馬頭琴コレクション 2025」

会期：2025 年 12 月 13 日～2026 年 3 月 31 日 87 日間（観覧者数 1,798 人）
(2026 年 8 月 16 日)

前年度好評だった「馬頭琴コレクション」を「馬頭琴コレクション 2025」と題して再び開催した。

他の弦楽器(ギター、三味線)との弾き比べのコーナーも引き続き設け、実際に馬頭琴に触れられるということで来館者に喜ばれた。



Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、二代目館長である故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴルの資料やアジアの考古資料を中心に、モンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入した資料、その他旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料で構成されている。しかし、それら資料については十分な調査を済ませたものではないのが実態である。

このため、国立民族学博物館島村一平教授の協力のもと、2023年度から3年計画で詳細調査を実施してきた。過去2か年で226点の資料調査を行い、2025年度は37点の資料を調査し終了した。

今年度の調査にあたっては、国立民族学博物館の協力のもとロシア科学アカデミーのスルンハンダ博士にも参加いただき、より詳細な調査を実施することができた。

1 資料の貸出

貸出日	貸出資料	数量	貸出先
4月18日	馬頭琴、鍋、水差し、銀碗、子羊用哺乳瓶、煙管 他	20点	(公財)横浜市ふるさと歴史財団 横浜ユーラシア文化館
7月27日	養蚕道具	1式	高橋地区コミュニティセンター
10月1日	遼代馬具の装飾金具	2点	九州大学大学院人文科学研究院
10月29日	デール、帽子、馬頭琴 他	8点	(公財)日本室内楽振興財団
2月2日	馬頭琴貸出キット※	1式	福知山市立三和小学校

※馬頭琴貸出キット内容

内 容 物	数量
ミニチュア馬頭琴 本体	1本
ミニチュア馬頭琴 弓	1本
モンゴル帽子	1個
しゃがい	16個
しゃがい遊び方説明	3枚

2 資料の燻蒸

全館にピレスロイド系殺虫剤の空中散布及び有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧を年2回実施した。また、収蔵庫（3ヵ所）内には年3回有機リン系殺虫剤の蒸散剤を設置して殺虫・防虫処理を実施した。なお、全館の害虫・ネズミの点検については、毎月実施している。

IV 普及教育事業

学校からの依頼に応じて、授業に職員を派遣する出前授業を 2000 年度から市内の全小学校を対象に実施している。授業では当館資料を活用して、ちょうど国語の授業で「スーホの白い馬」を学習する小学校 2 年生の児童を主な対象として、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるような授業を実施している。

近隣の京丹後市などからは多くの学校に来館いただいて、来館受入授業という形で行っている。

1 出前授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	12 月 2 日	小坂小学校	2 年	10	モンゴルって どんな国
2	12 月 4 日	港小学校	2 年	14	
3	12 月 5 日	神美小学校	2 年	14	
4	12 月 12 日	城崎小学校	2 年	16	
5	1 月 26 日	福住小学校	2 年	9	
6	1 月 27 日	竹野学園(前期)	2 年	20	
7	1 月 30 日	三方小学校	2 年	14	
8	2 月 2 日	新田小学校	2 年	33	
9	2 月 3 日	府中小学校	2 年	18	
10	2 月 5 日	小野小学校	2 年	5	
11	2 月 10 日	八条小学校	2 年	53	
12	2 月 13 日	日高小学校	2 年	76	
13	2 月 16 日	清滝小学校	2 年	8	
14	2 月 17 日	三江小学校	2 年	16	
15	2 月 19 日	五荘小学校(3、4)	2 年	115	
16	2 月 20 日	五荘小学校(1、2)	2 年		
17	2 月 24 日	中筋小学校	2 年	10	
18	2 月 26 日	弘道小学校	2 年	32	
19	2 月 27 日	田鶴野小学校	2 年	27	
20	3 月 3 日	豊岡小学校	2 年	37	
21	3 月 6 日	合橋小学校	2 年	6	
計		20 校		533	

2 来館受入授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	2 月 2 日	京丹後市立長岡小学校	2 年	5	モンゴルって どんな国
2	2 月 3 日	京丹後市立大宮南小学校	2 年	8	
3	2 月 17 日	与謝野町立市場小学校	2 年	37	
4	2 月 24 日	京丹後市立高龍小学校	2 年	18	
5	2 月 27 日	豊岡市立資母小学校	2 年	7	
6	3 月 2 日	京丹後市立久美浜小学校	2 年	13	
7	3 月 3 日	京丹後市立橘小学校	2 年	14	
8	3 月 5 日	京丹後市立弥栄小学校	2 年	33	
9	3 月 6 日	京丹後市立島津小学校	2 年	12	
計		9 校		147	

3 体験教室の開催

教 室 名	実施回数	参加人数	備 考
羊毛フェルトアート	5	135	随時実施
モザイクアート	2	28	
フラワーハーバリウム	1	3	
羊毛フェルトアート	3/7～3/8 2 日間	71	モンゴルまるごと フェス
天然石ビーズでプレスレット作り		77	
木のキーホルダーに絵を描こう		71	
モンゴル文字で書いてみよう		23	
かご編み・皮のキーホルダー作り		17	
計		425	

4 イベントの開催

(1) 第11回おんぷの祭典街角コンサート in 日本・モンゴル民族博物館

実施日：2025年5月29日(木)

今年度も豊岡市において、第11回おんぷの祭典が5月25日(日)から6月1日(日)まで開催された。その中で、5月29日(木)に当館において「シュバシコウ・カルテット(弦楽四重奏)」による街角コンサートが当館を会場に開催された。

一流音楽家の演奏に、子どもから大人まで多くの人が聞き入った。

参加者約100人



おんぷの祭典 
街角コンサート
in 日本・モンゴル民族博物館
～ 親しみやすい曲を中心に、クラシックの名曲をお届けします ～

 田山 拓大 (ヴァイオリン)	 川又 明日香 (ヴァイオリン)	 鈴村 大樹 (ヴィオラ)	 加藤 文枝 (チェロ)
--	---	--	---

5月29日(木) 10:30～11:00 (開場 10:15～)
演奏 シュバシコウ・カルテット
9:30～12:00 (当日のみ正午まで)
日本・モンゴル民族博物館 入館料無料

「ご参加くださる皆さまへお願い」
コンサート中に撮影した写真や映像は、おんぷの祭典や豊岡市の広報等で使用させていただきます。あらかじめご了承ください。
スケジュール等はやむを得ず変更となる場合があります。最新の情報はホームページをご確認ください。

【主催】 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽実行委員会・豊岡市・豊岡市教育委員会
【助成】 令和7年度 文化庁 文化芸術活動拠点活用事業
【問合せ】 おんぷの祭典実行委員会事務局 (TEL 0794-23-1160)



(2) モンゴルまるごとフェス

期間：2026年3月7日(土)～8日(日)

毎年3月に開催していた「まるごとモンゴルひなまつり」については、「ひなまつり」と「モンゴル」の関連性に違和感があることから、今年度はイベントの名称を「モンゴルまるごとフェス 2026」に改め開催した。内容は、好評の馬頭琴のミニライブや馬頭琴演奏体験などをはじめ、職員による羊毛フェルトアート作りや地域の協力者による多彩なワークショップも実施し、二日間で655人の来館があった。





馬頭琴演奏体験



羊毛フェルトアート



木のキーホルダーに絵を描こう



モンゴルの文字で書いてみよう



コリヤナギと籐のかごを編んでみよう



天然石ビーズで作ろう

5 トライやる・ウィークの受入れ

2025 年 6 月 2 日(月)から 6 月 6 日(金)まで、但東中学校から 2 人、出石中学校から 1 人を受け入れた。また、6 月 3 日(火)には、その日一日のみであるが但東中学校からさらに 2 人の生徒を受け入れた。

生徒たちは、朝の開館準備、展示のノウハウの学習、ワークショップの準備、SNS を使った情報発信など博物館の日常業務を体験し、最終日にはその成果発表も兼ねて、当館の見どころについて発表を行った。



6 情報の発信と公開

展示の様子やワークショップの活動状況などをリアルタイムに発信していくことは、博物館の認知度を上げ、入館者増につながる有効かつ重要なものといえる。

今後も、博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア、SNS等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

(1) 全市的情報発信

市が文化芸術活動の情報発信ツールとして、秋冬期の2期に発行する「Toyooka Art Season」総合パンフレットの中で、当博物館の活動も広報している。

(2) 企画展チラシ等の配布

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館、道の駅、近隣市町及び報道機関などに配布する。

(3) 各種報道メディアへの情報発信

企画展、ワークショップ等の実施に合わせ、各種報道メディアへ情報提供を行うとともに、コミュニティFMに積極的に出演するなどし情報発信に努めた。

また、さまざまなメディアからの取材に対しては、積極的に対応するよう努めている。

(4) インターネット等による情報発信

リアルタイムに情報を発信するツールとして、インターネットやSNSなどの活用が特に重要となっている。

市や当館のホームページ、フェイスブック、インスタグラムで情報発信を積極的に行っている。

SNSの更新は、催し物案内だけでなく、様々な情報や話題を随時取り上げ発信するよう努めている。

V 国際交流・他機関等との連携

1 国際交流

2025年4月にモンゴル国の画家であるダムディンスレン・ウルタナサン氏一行の訪問を受けた。氏は、1997年、1999年、2002年に、当時但東町がモンゴル中堅画家招聘事業として助手のガンジュール・バルスボルド氏とともに招聘し、当館に滞在して絵画の制作を行った。その作品13点を当館に寄贈いただき、常設展示として展示している。

現在は、モンゴル国との直接的な交流は行っていないが、モンゴル国のみならず、他の国々を含めた多文化共生の普及、推進についても積極的に取り組みたい。

2 他機関等との連携

(1) 国立民族学博物館(大阪府吹田市)との連携

2023年の国立民族学博物館島村一平教授の協力による収蔵資料調査を契機に、2024年9月1日に同博物館と「学術交流及び協力に関する基本協定」を締結している。

これにより、①研究活動、②教育活動、③研究交流及び人材交流、④施設及び設備の相互利用、その他様々な事項について相互に連携を推進することにより、今後の当館の活性化のみならず、地域づくりの施策等においても協力を期待するものである。

今年度は、当館学芸員がモンゴル国での調査に同行する機会を与えていただき、また収蔵資料の調査においては、国立民族学博物館の協力のもとロシア科学アカデミーのスルンハンダ博士にも参加いただくなど具体的な連携も見られた。

今後も、それぞれの事業の展開にあたって積極的な協力が図れるよう、連携の強化に努めていく。

(2) 福知山公立大学との連携

昨年度から実施している「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」において、福知山公立大学地域経営学部渋谷節子教授にアドバイザーとして協力いただいたことを契機に、2026年度に実施予定の同大学10周年記念事業への協力を計画している。

Ⅵ 地域との連携強化

1 「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」の実施

昨年度実施した住民アンケートの結果も踏まえて、但東の地域づくりを進めるにあたっての当館の活用可能性を検討する「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」を実施した。ワークショップは、2024年度と2025年度の二か年で4回実施し、その結果を今後の但東全体の地域づくりに反映させていく。

(1) ワークショップの目的

但東の地域づくりに博物館が果たす役割を明確にし、具体的で実現可能な施策を検討する。

(2) ワークショップの参加者

ワークショップ参加者は、地域コミュニティ組織、教育・子育て分野、観光・産業分野、移住者、モンゴル交流の各団体からの18名で構成し、アドバイザーとして、福知山公立大学地域経営学部渋谷節子教授にも参加いただいた。

(3) ワークショップの実施概要

2024 年度	第 1 回 2025 年 1 月 14 日 於:但東振興局	博物館の現状や客観的な地域住民の認識と、地域づくりにおける博物館の活用についての情報共有。参加者 12 人。
	第 2 回 2025 年 3 月 17 日 於:当館	博物館を利用する動機を考え、博物館の利用策について多様なアイデアを発案。参加者 13 人。
2025 年度	第 3 回 2025 年 5 月 9 日 於:但東振興局	実現性の高いアイデアを絞り込み、実現に向けた、人、モノ、カネ等についての具体的検討。参加者 12 人。
	第 4 回 2025 年 7 月 4 日 於:但東振興局	第 3 回目で検討したアイデアのブラッシュアップ。参加者 11 人。

※ ワークショップの詳細報告書については、下記の豊岡市公式ウェブサイト日本・モンゴル民族博物館のページにて公表している。

<https://www.city.toyooka.lg.jp/1019810/1019834/1019848/1037876/1037878/1034757.html>



2 多様性のある地域社会についての講演会の実施

多様性の視点や多様な方が暮らす地域社会について学ぶ場として当館を機能させることを目的に、次のとおり「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」アドバイザーの福知山公立大学渋谷節子教授による講演会を実施した。

- (1) 演 題 「多様性のある地域社会に向けて」
- (2) 日 時 2025 年 9 月 6 日（土）
- (3) 場 所 豊岡市役所但東庁舎（2F 大会議室）
- (4) 参加人数 32 人



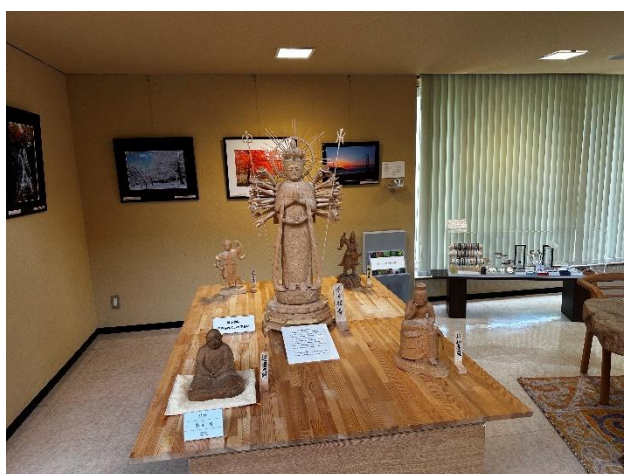
3 地域連携事業の展開

当館が立地している但東地域の市民の来館が少ないことから、まず地元市民の当館の活用と来館の促進を図るため、今年度から地域連携事業として次のとおり取り組みを開始した。

(1) 地域の作品展示

但東地域に居住し創作活動を行っている市民を対象に募集し、その作品を当館無料スペースに展示し、来館者の増を図った。今年度応募者は次のとおり。

- ア 写真 1 人
- イ ビーズ作品 1 人
- ウ 彫刻 1 人



(2) 施設活用

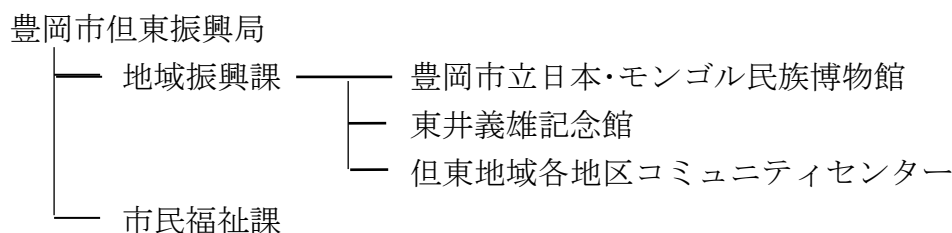
当館中庭の一部を開放し、ガーデニング等に活用することにより、施設の良好な景観保持と来館者の増を図った。今年度の応募者は1組2人あった。



VII 管理運営

1 組織・職員（2026年3月31日現在）

(1) 組織



(2) 職員

館長(会計年度任用職員)	桑井 弘之 (2023年4月～)
係長(振興局主査)	水谷 東洋 (2024年4月～)
学芸員(会計年度任用職員)	朝倉 由美 (2013年4月～)
学芸員(会計年度任用職員)	伊崎 文彦 (2015年4月～)
管理員(会計年度任用職員)	前裕 里江 (2023年4月～)
事務補助(会計年度任用職員)	安田 善則 (2023年8月～)

2 予算の概要（決算額） 単位：千円

(1) 人件費 26,409

ア 報酬	11,588
イ 給与	3,786
ウ 職員手当等	7,353（扶養手当 174、地域手当 79、通勤手当 893、 時間外勤務手当 115、期末手当 3,326、勤勉手当 2,766）
エ 共済費等	3,682

(2) 管理費 5,706

ア 報償費	200（報償金 200）
イ 需用費	3,541（消耗品費 296、燃料費 89、食糧費 2、光熱水費 3,154）
ウ 役務費	341（通信運搬費 287、手数料 36、保険料等 18）
エ 委託料	1,221（芝生管理 94、除雪 227、あり方検討業務 900）
オ 使用料	388（自動車借上料 301、土地借上料 2、機器借上料 29、 用品借上料 56）
カ 負担金	15（兵庫県博物館協会負担金 15）

(3) 事業費 2,847

ア 報償費	840（講師謝礼 840）
イ 旅費	212（費用弁償 68、普通旅費 144）
ウ 需用費	1,238（消耗品費 1,077、食糧費 11、印刷製本費 150）
エ 役務費	537（通信運搬費 537）

オ 使用料 20 (機器借上料 20)

3 入館者状況

2025 年度は、開館日数は 304 日であり、入館者数は 7,482 人で前年比 17.3%の増となり、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復傾向が感じられるようになってきた。今後も、より魅力的な企画展の実施や常設展の改善を検討するとともに、企画展に併せてワークショップの開催や地域との連携による取り組みも積極的に展開することにより、一層充実した館の運営を図っていく必要がある。

またそれに併せて、さまざまな手段を用いた情報発信を強化し、集客に努めていく。

【2022 年度（令和 4 年度）（開館日：302 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	318	458	348	550	2,097	164	178	238	111	73	233	421	5,189
高、大	7	5	3	19	69	10	3	3	2	1	4	8	134
小、中	32	41	7	52	154	10	4	0	10	9	35	111	465
その他	209	176	147	168	485	185	222	466	112	66	195	269	2,700
計	566	680	505	789	2,805	369	407	707	235	149	467	809	8,488
1 日平均	22	25	20	33	108	14	15	31	10	6	19	31	28

【2023 年度（令和 5 年度）（開館日：306 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	363	270	132	202	386	206	224	260	87	124	251	348	2,853
高、大	5	11	0	2	19	6	48	14	0	3	8	14	130
小、中	37	20	7	13	67	13	17	4	3	19	39	68	307
その他	179	106	88	147	205	77	132	701	108	95	266	281	2,385
計	584	407	227	364	677	302	421	979	198	241	564	711	5,675
1 日平均	21	16	9	15	27	12	16	39	9	10	23	26	19

【2024 年度（令和 6 年度）（開館日：305 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	352	342	313	347	796	337	171	258	149	117	93	445	3,720
高、大	5	22	4	8	42	18	4	2	2	1	1	12	121
小、中	50	30	13	17	87	28	10	6	11	18	14	119	403
その他	152	264	109	187	262	121	39	303	49	57	171	420	2,134
計	559	658	439	559	1,187	504	224	569	211	193	279	996	6,378
1 日平均	20	25	17	22	44	19	9	22	9	8	13	37	21

【2025 年度（令和 7 年度）（開館日：304 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	493	309	265	318	865	336	235	279	107	107	224	547	4,085
高、大	3	10	2	23	49	4	1	1	1	6	5	29	134
小、中	35	35	12	28	122	20	4	8	6	3	26	124	416
その他	170	616	104	121	295	99	96	660	31	16	216	423	2,847
計	701	963	383	490	1,331	459	336	948	145	132	471	1,123	7,482
1 日平均	27	36	15	20	49	18	13	36	6	6	20	42	25

2026 年 3 月末延べ入館者数 497,443 人

4 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、職員による直営管理を基本とし、年 3 回豊岡市シルバー人材センターに委託し芝刈りを実施した。またそれとは別に、シルバー人材センターにはボランティア活動として、年 1 回博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

(2) 施設修繕等(包括管理)

開館以来 29 年以上が経過しており、施設の大規模改修や空調の更新など根本的な長寿命化の工事等が望まれるところであるが、長寿命化等大規模な改修は未定であり、空調設備の修繕や施設の必要最小限の修繕を実施した。

ア	ロビー空調設備修繕	665,754 円
イ	事務室空調設備新設	507,746 円
ウ	展示室照明器具取替	444,439 円
エ	身障用トイレフラッシュバルブ交換	291,986 円
オ	受付ガラス改修(アクリルへ変更)	96,252 円
カ	入口自動ドアセンサー交換	63,307 円
キ	その他小修繕(1 件 壁穴あき修繕)	10,320 円

5 外部役員等就任状況

なし

6 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・研修会の開催
- ・協会が運営する Web サイト「ひょうごミュージアムガイド」で加盟する公立・私立 141 の博物館・美術館の情報を案内
- ・リーフレット「ひょうごミュージアムガイド」の作成、配布

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年4月25日に設立された。2025年3月末現在で17館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟している。

・2025年 7月 4日(金) 総会

・2025年 10月 24日(金) 研修会

講演 「生野銀山と竹田城」

金香瀬 (かながせ) 坑道見学

7 博物館日誌抄

2025年度の主な出来事

4月 1日 館蔵品展「馬頭琴コレクション」前年度から継続開催。

4月 15日 チューリップまつり開会。

4月 17日 モンゴル国からD・ウルタナサン一行来館、デール1着、切手一式寄贈。

4月 18日 D・ウルタナサン一行館内動画撮影等実施。

4月 27日 チューリップまつり終了。

5月 1日 地域連携事業(作品展示、中庭ガーデニング)開始。

5月 9日 第3回「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」実施(但東振興局にて)。参加者12人。

5月 13日 消防訓練実施。

5月 25日 武田薬品工業(株)労働組合中央執行委員長以下2名、モンゴル絵画寄贈のため来館。

5月 29日 おんぷの祭典街角コンサート(多目的スペース) 105人参加。

5月 31日 たんたんマルシェ開催 360人入館。

6月 2日 トライやるウィーク受け入れ開始(但東中学校2人、出石中学校1人)

6月 3日 トライやるウィーク1日のみ受け入れ(但東中学校2人)、計5人に。

6月 6日 トライやるウィーク終了。

大阪教育大学附属天王寺小学校2年生児童作品展示開始。(8月31日まで)

6月 8日 如布区事業の一環として中庭の除草実施(5人)。

6月 24日 館内燻蒸実施。

7月 4日 第4回「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」実施(但東振興局にて)。参加者11人。

但馬地域博物館連絡会総会(香美町 兵庫県木の殿堂:欠席)

7月 8日 館蔵品展「馬頭琴コレクション」終了。

7月 12日 第94回企画展「現代美術家大村雪乃 シールアートの世界から」開始。大村氏によるアーティストトーク及びシールアート体験実施。

アーティストトーク 8人参加。

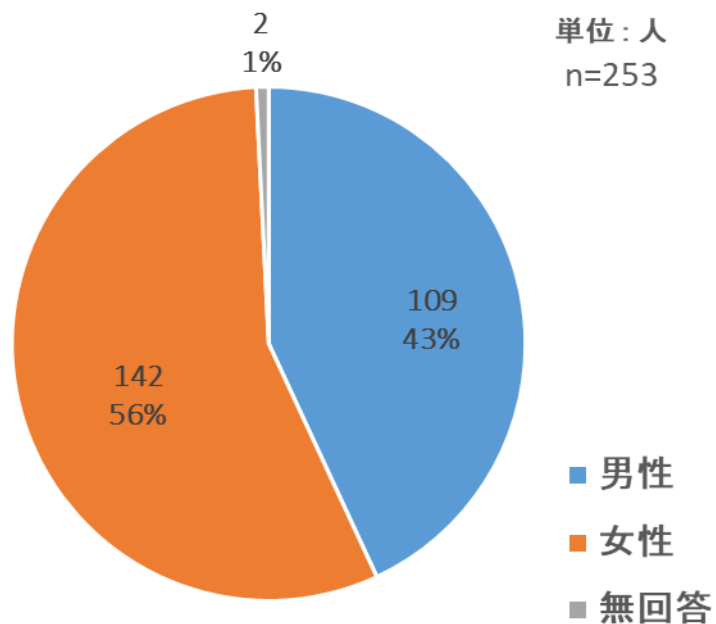
シールアート体験 24人参加。

- 7月18日 第94回企画展 両丹日日新聞取材受け入れ。
- 8月1日 教職員初任者研修2人受け入れ(新田小、福住小各1人)。
- 8月3日 シールアート体験実施(独自開催)19人(大人7人、子供12人)参加。
- 8月9日 夏休みワークショップ実施。
ハーバリウム 3人、モザイク画1人、フェルトアート3人参加。
- 8月21日 第94回企画展 神戸新聞取材受け入れ。
- 8月22日 第94回企画展 日本海新聞取材受け入れ。
- 8月23日 第94回企画展 学芸員による作品解説会 4人参加。
- 9月2日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会(出石庁舎、伊藤清永記念館)
- 9月6日 福知山公立大学 渋谷節子教授講演「多様性のある地域社会に向けて」を実施(但東庁舎)。32人受講。
- 9月7日 第94回企画展終了。
- 9月13日 第95回企画展「旧高橋村『大兵庫開拓団』が入植した地にくらした人びと」開始。
両丹日日新聞取材受け入れ。
- 10月10日 第95回企画展 毎日新聞取材受け入れ。
- 10月13日 第95回企画展 読売新聞取材受け入れ。
- 10月18日 但東わいわいフェスタ(但東庁舎)にてワークショップ等実施。
- 10月26日 第95回企画展ギャラリートーク実施。
神戸新聞、毎日新聞取材受け入れ。
- 11月2日 しぼ・モンゴル宝まつり(関西文化の日)につき無料開放。
502人入館(大人293人、子供209人)。
- 11月16日 豊岡市制20周年記念無料開放デー。
63人入館(大人58人、子供5人)。
- 11月18日 館内燻蒸実施。
- 12月9日 第95回企画展終了。神戸新聞取材受け入れ。
- 12月13日 館蔵品展「馬頭琴コレクション2025」開始(2026年8月16日まで)。
- 12月16日 館蔵品展 日本海新聞取材受け入れ。
- 12月26日 館蔵品展 朝日新聞取材受け入れ。
- 1月15日～17日 収蔵資料調査実施。
国立民族学博物館 島村教授、同 末森准教授、ロシア科学アカデミー スルンハンダ博士
- 2月7日 館蔵品展 両丹日日新聞取材受け入れ。
- 2月27日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会(市立歴史博物館)。
- 3月7日 モンゴルまるごとフェス第1日目。290人(大人144人、子供146人)入館。
サンテレビ取材受け入れ。
- 3月8日 モンゴルまるごとフェス第2日目。365人(大人162人、子供203人)入館。
毎日放送取材受け入れ。

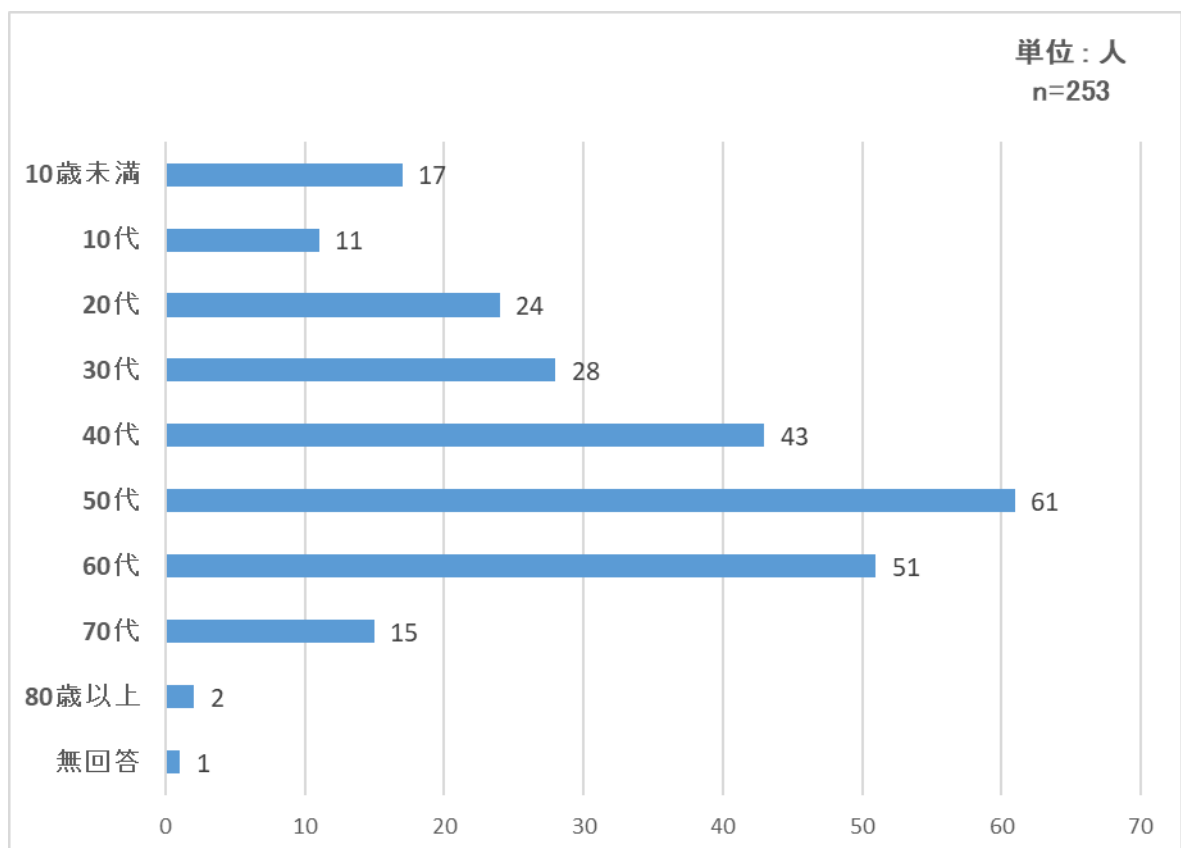
8 2025 年度来館者アンケート(回答総数 : 253)

(1) 回答者の属性

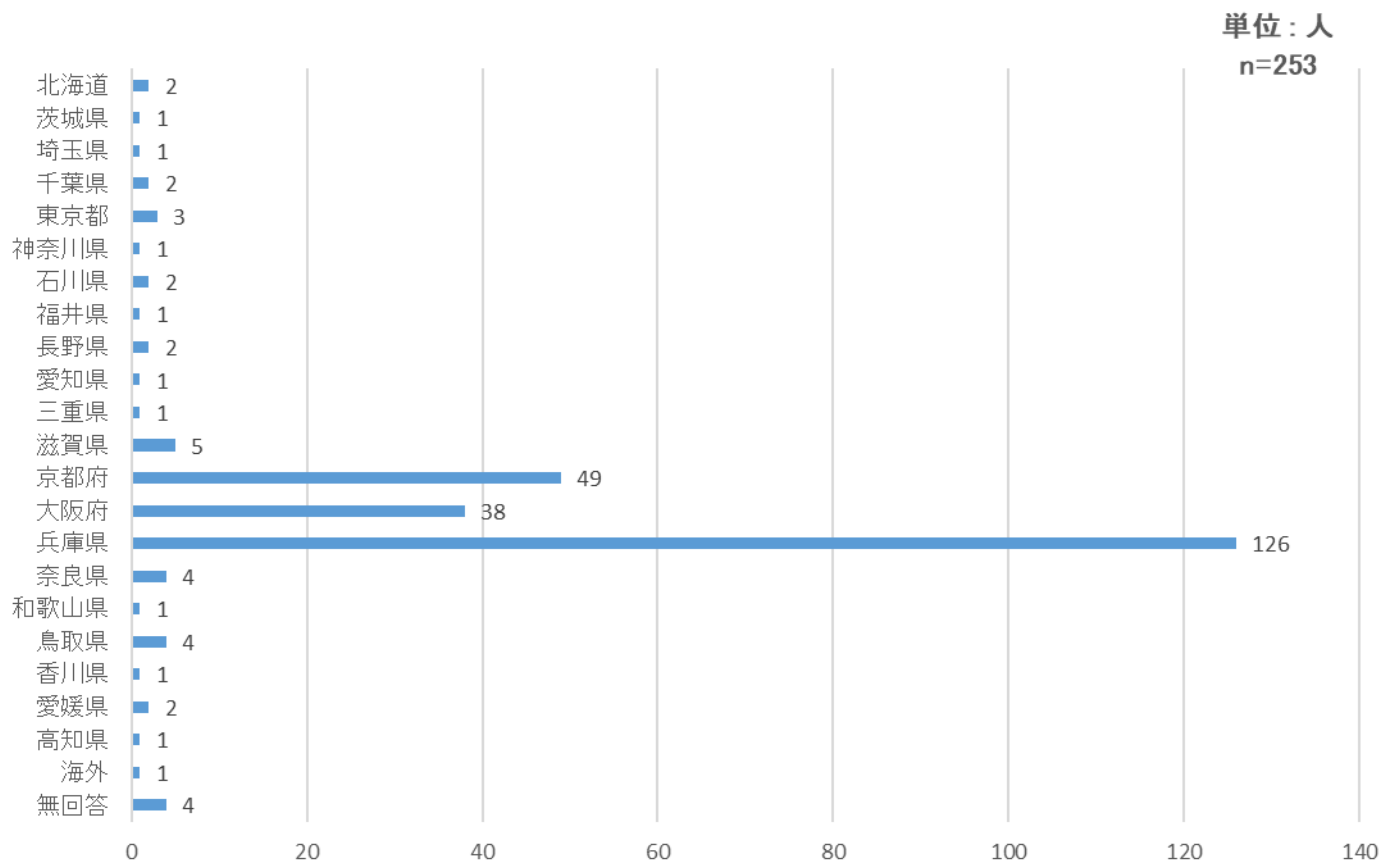
ア 性別の内訳



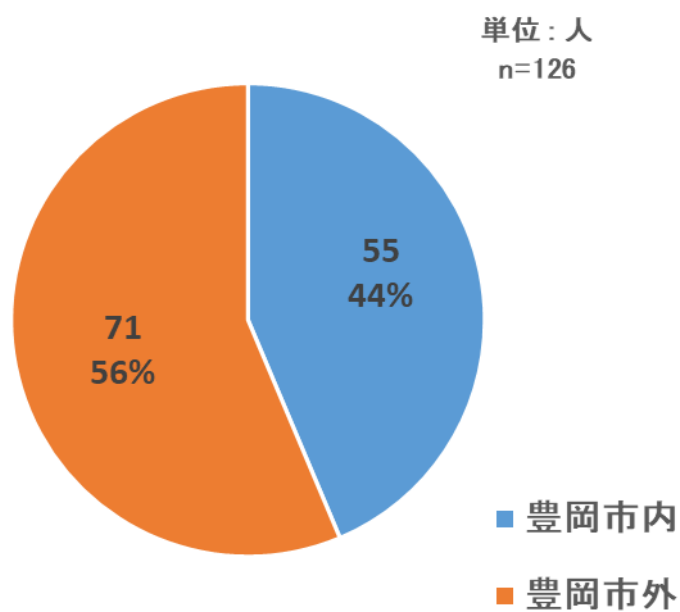
イ 年代の内訳



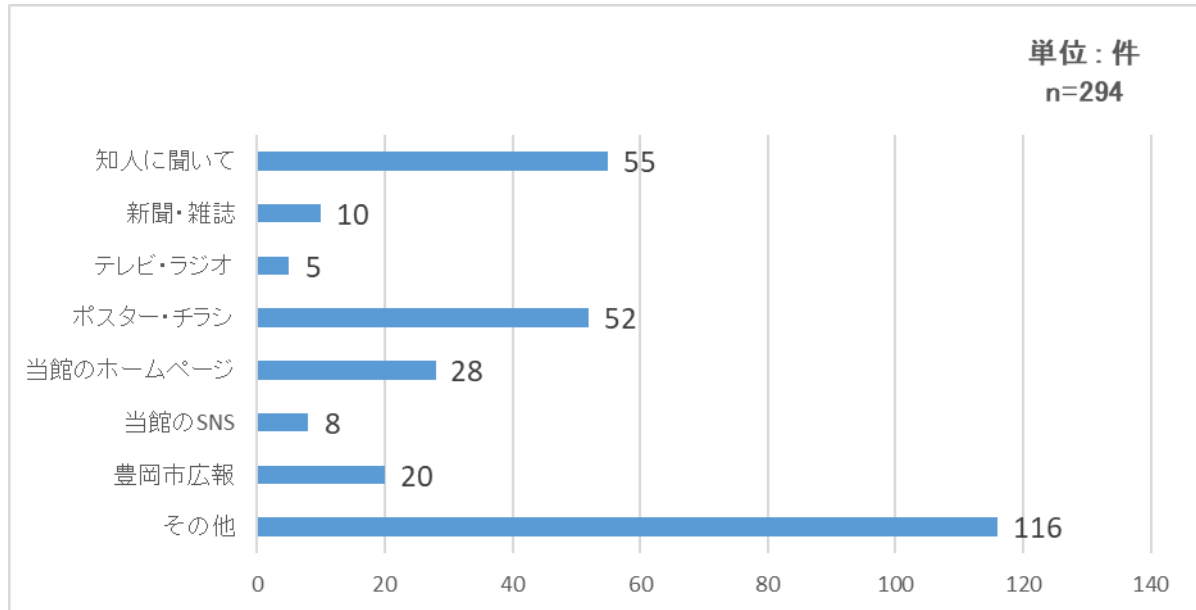
ウ 都道府県の内訳



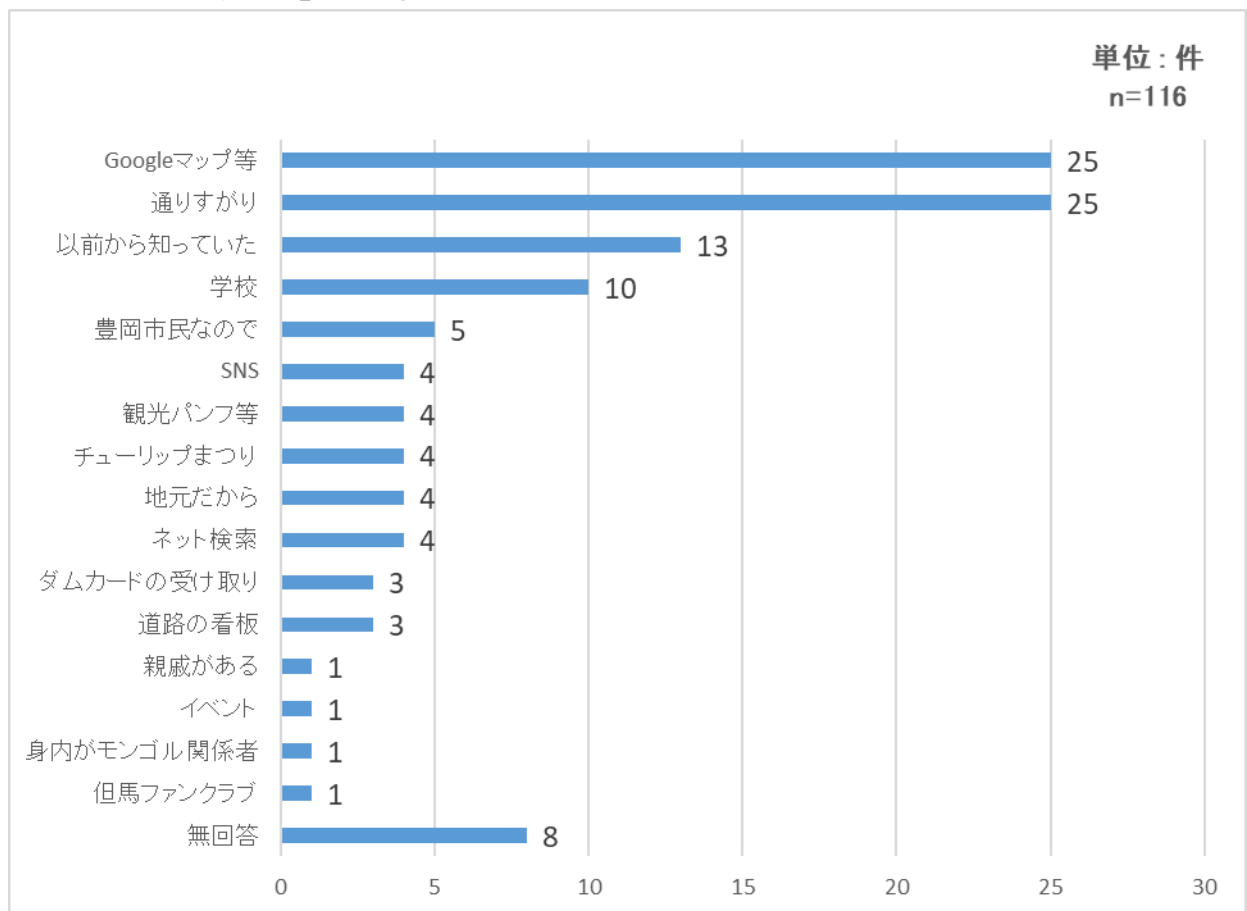
※ 兵庫県内来館者のうち豊岡市内来館者の割合



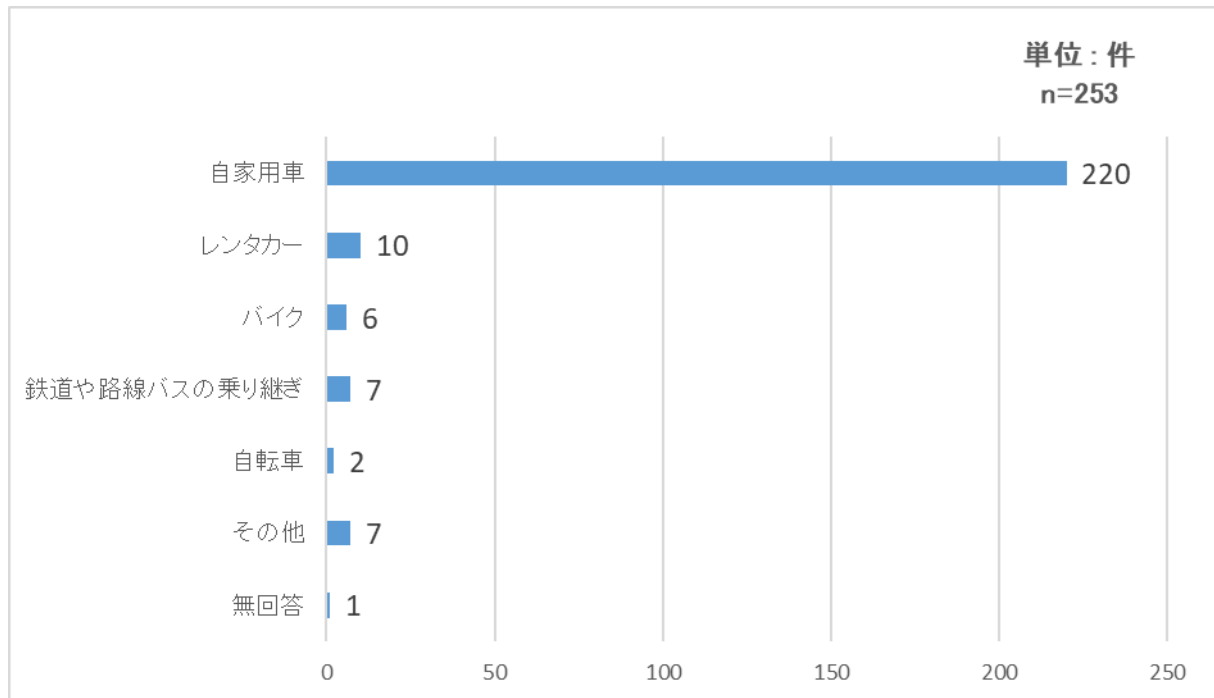
エ 当館を何で知ったか?(複数回答)



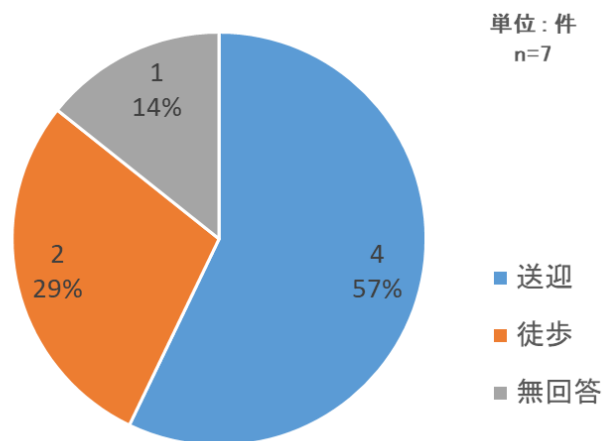
※ 「その他」の内容



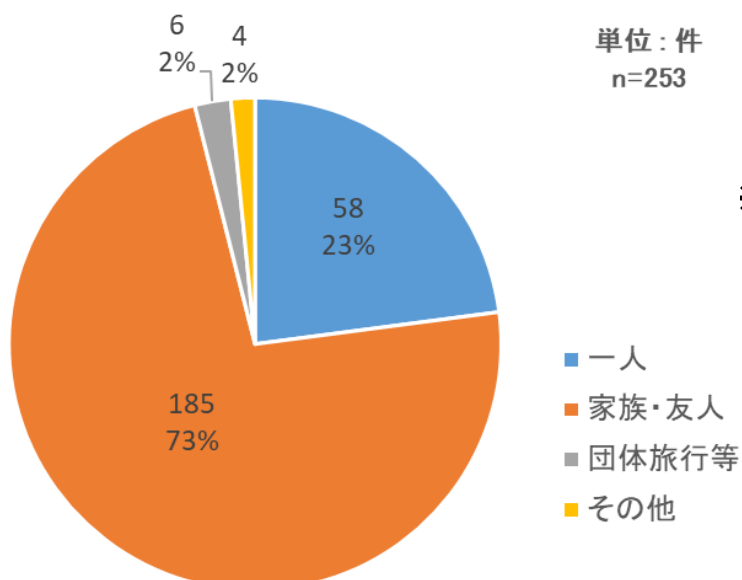
オ 来館の手段は？



※ 「その他」の内容



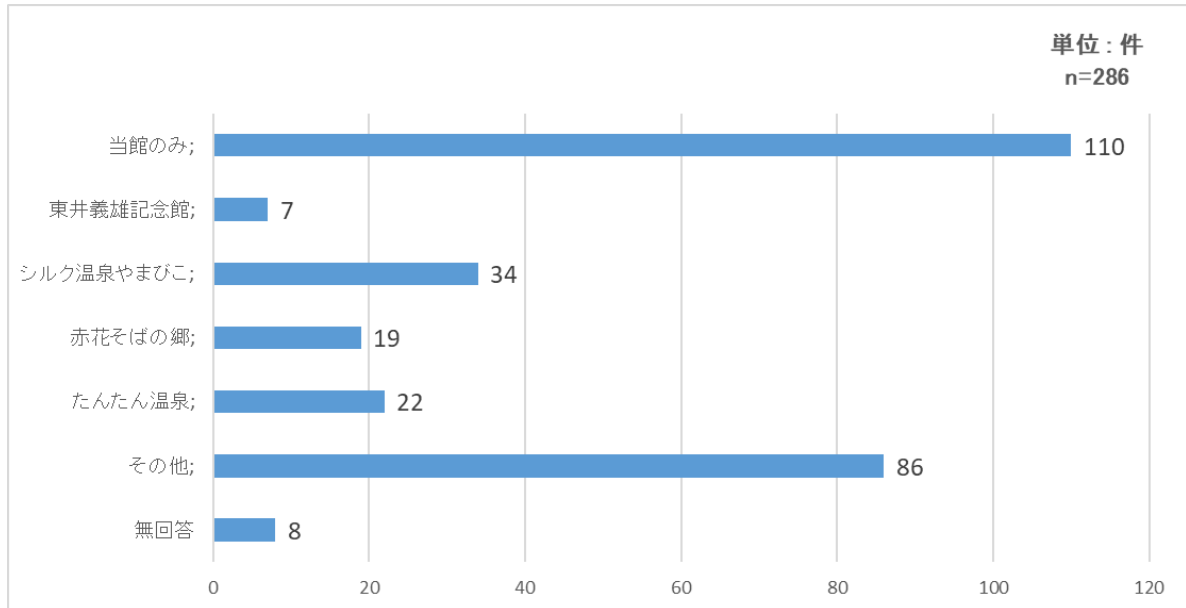
カ 誰と来館したか？



※ 「その他」の内容

- ・学P 2
- ・活動団体メンバー 1
- ・仕事関係 1

キ 他にどこに立ち寄ったか?(複数回答)

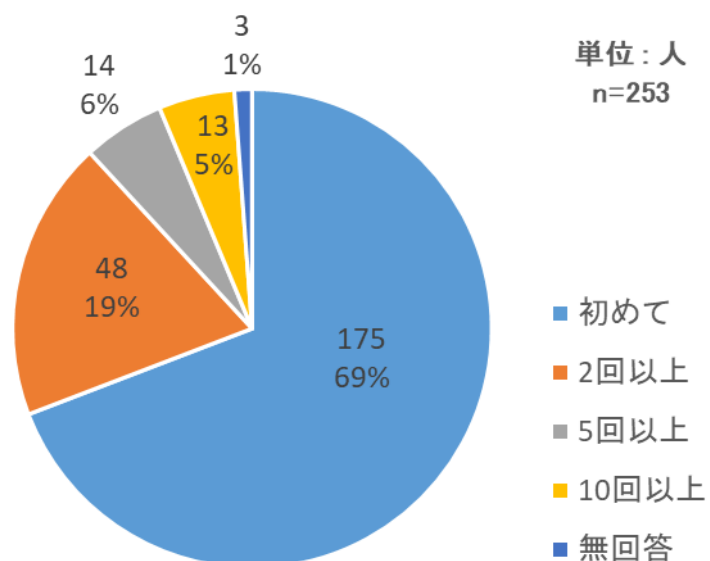


※ 「その他」の立ち寄り先ベスト5

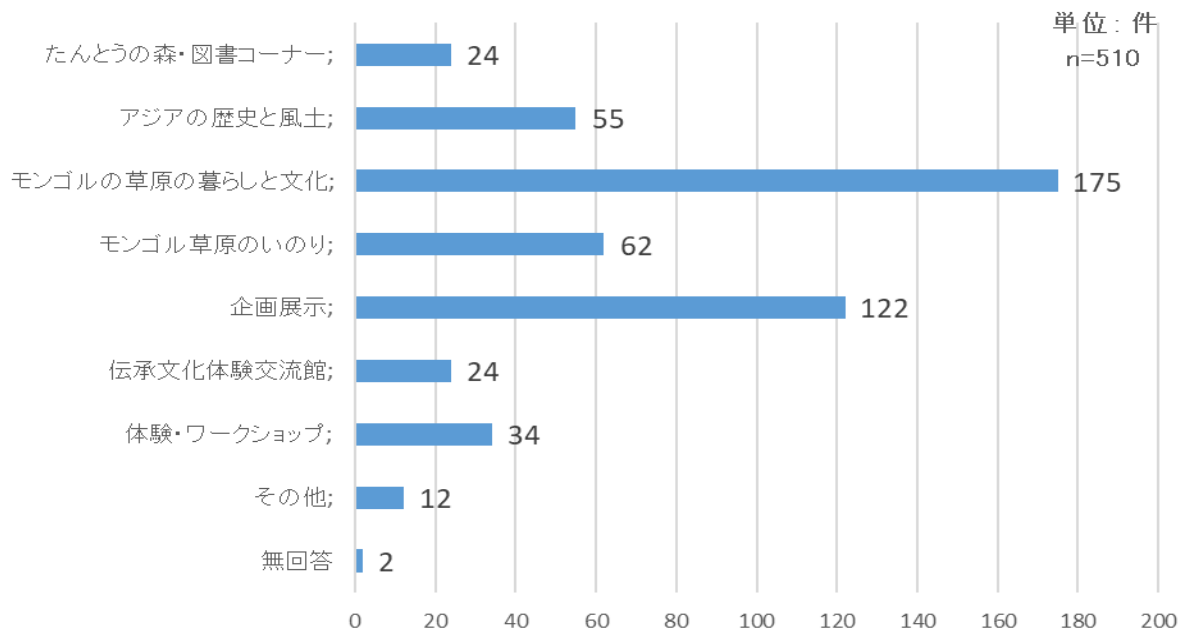
単位：件

1位	チューリップまつり	11
1位	但熊(卵かけご飯)	11
3位	出石	8
4位	ひまわりまつり	6
5位	安国寺	4

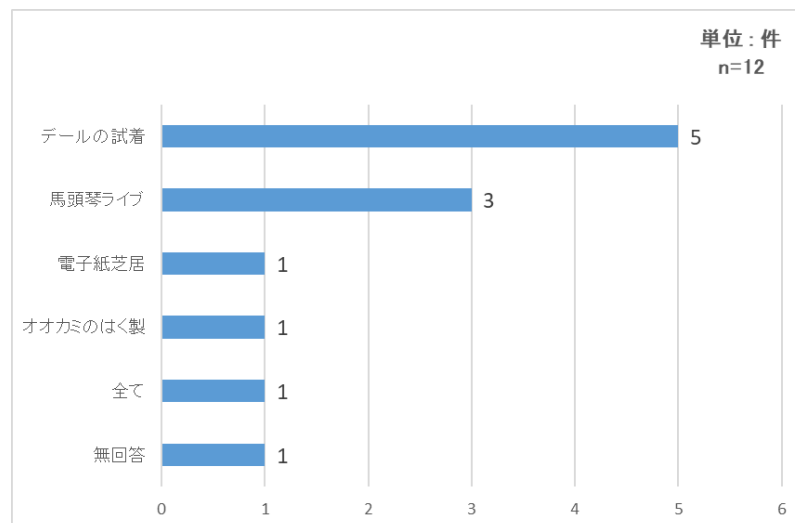
ク 来館回数は?



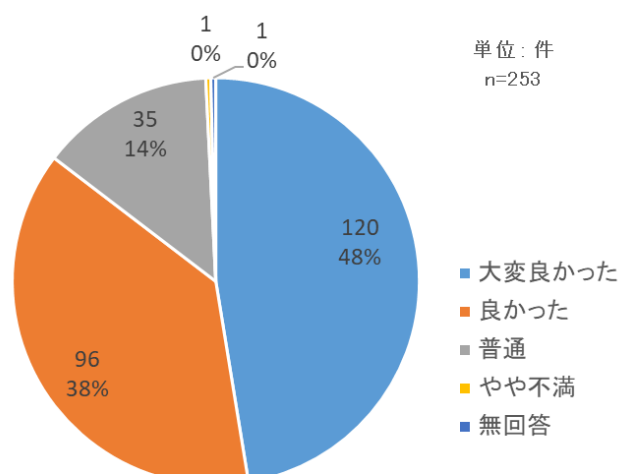
ケ 当館の展示等で何が良かった?(複数回答)



※ 「その他」の内容



コ 職員の対応は?



(2) お客様の声

(原文のまま)

都道府県	市区町村	年齢	性別	意見・提案
兵庫県	豊岡市	40 代	女性	アンケートの性別が男性と女性しかないのは時代に合っていないと思う。
大阪府	堺市	50 代	女性	こんな所（失礼）に、こんな立派な内容の博物館があるとは知りませんでした。トマトスープさんの漫画本 1 巻だけ読んでたので興味本位で来たのですが、立ち寄れて良かったです。歴史に詳しくないので、歴史部分も増やして欲しいです。
兵庫県	豊岡市	50 代	女性	何度か来ています。今回は馬頭琴の実物を見ることが出来て良かったです。せっかく近くでチューリップまつりをしているので、モンゴルのお菓子を売るとか、馬頭琴のミニコンサート等されたら良いのと思いました。アマチュアの方の演奏でよいのです。大阪から来た友人夫婦を案内しましたが、こんなに展示内容が充実した、良い博物館とは思わなかったと言っていました。建物の中もきれいでした。
兵庫県	豊岡市	50 代	女性	ゲルの中に入れた事、スクリーンで兄弟達にお話をもう一度聞けた事満足してました。今の子供達は、YouTube や TikTok で小さい時から色々な情報を知っていても、触れる実際に見る事など、五感で感じる事は色々良い経験になると思います。 市民として、大人の入館料金が少し高いと感じました。帰省客や観光客の方が家族で入館するのに家族分支払うのを躊躇して帰られる姿を見ました。維持運営するのに仕方ないとは思いますが、もう少し安ければ入りやすいのかな？と思いました。
兵庫県	播磨町	60 代	女性	体験型の展示がよい。ゲルに入る（中の展示もリアル）、モンゴルの衣裳を着る、馬頭琴を弾く、など楽しめました。
大阪府	堺市	20 代	女性	とても勉強になった。参加型の展示が多くて楽しめた。
大阪府	大阪市	60 代	男性	文具関係の企画第 3 弾お願いします。又、再登場でシロイさんの芯世界もう 1 度！！
京都府	無回答	50 代	無回答	色々な企画、展示があるので毎年楽しませていただいています。障害者割引のつき添い者が対象になるかどうか身体介助しか適用しないのは納得できません。改善を求めます。

京都府	京丹後市	40 代	男性	国粋主義的な政党が伸長するなど、今の日本も例外なく危険な風潮があります。改めて、戦争を語り継ぐなど過去の過ちを繰り返さぬような教育の必要性が叫ばれています。モンゴルにおいても、社会主義革命により長らく全体主義の鬱屈とした暗い時代があったと思います。その当時の資料はあまり残っていないかもしれませんが、人民革命党独裁時代の写真、資料などの展示があれば、是非見てみたいと思います。
大阪府	寝屋川市	50 代	男性	なぜ豊岡にモンゴルなのかはともかく、思ってた以上に楽しめました。実際に行ってみたくもなりましたが難しいと思うので、ゲル設備のあるキャンプ場に行ってみても良いかなと思いました。 民族衣装は良いですね。かつこいいと思いました。家族連れに人気ありそうです。 空いてたのはありがたかったのですがもったいなく思いました。
兵庫県	豊岡市	50 代	女性	家族の希望で企画展が見たくて行きました。 シールアートは知っていましたが、本物を見ると細かな色づかいに圧倒され見応えがありとても良かったです。 興味深い企画展が多いので、もう少し近ければ、友人にすすめるのに～と残念です。
京都府	福知山	60 代	女性	今回、シールアート展の情報は両丹日日新聞で知った。また両丹日日新聞に展示される情報が掲載されれば、見せてもらいに行きたいと思っている。
兵庫県	豊岡市	50 代	男性	プチリニューアルされてる箇所が何ヶ所もあり、良かった。中庭の協力してくださった方を紹介したプレートも良かった。企画展示に迫力があった
兵庫県	豊岡市	60 代	女性	お手頃な入館料で楽しめて嬉しいです 現代アートの企画展とても楽しみです
鳥取県	鳥取市	30 代	男性	モンゴルのホーミー歌唱法について詳しく紹介して欲しいです。

兵庫県	豊岡市	40代	女性	毎年夏の企画展示を楽しみにしています。 但東のチューリップを思わせる作品や緑が眩しい作品が土地柄にマッチしていて良いなと思いました。 また、思っていたより作品が大きく驚きました。 遠くでみると絵画のようなのに、近づくともシールと言う、なんだか不思議な感覚が楽しかったです。 ありがとうございました。
兵庫県	朝来市	30代	女性	プレバトで見た事があるシールアートで、「もしかしたら」と思い調べたら、作家さん本人と知り足を運んだ。企画展が 7/12～とは全く知らなかったのもっと広報してほしい。
大阪府	大阪市	20代	女性	天幕のジャードゥーガルの影響でモンゴルのことを詳しく知りたいと思い、今回訪れました。モンゴルの歴史から現代の暮らしまで、他にも但東地域の暮らしなど様々な展示物を見ることが出来て良かったです。 上記の作品が今度アニメ化するそうなので、この作品に関しての企画展があると面白いのかもしれないと思いました。
兵庫県	豊岡市	60代	女性	深堀隆介さんの金魚アート…小品も多いので貴館の展示に向いていると思います。
京都府	福知山市	30代	女性	衣装を着れたり、ゲルの中に入れたり、友人と楽しむことができました。職員さんによる解説のプリントが詳しく、最近遊牧民族に興味のある友人も喜んでいたので、連れてきてよかったなと思いました。 以前来た時はスーホの白い馬の展示がもっとあったかと思いましたが、企画展のためか少なくなっていたようでした。馬頭琴も目当ての一つだったので残念でした。 天王寺小学校の子どもたちの作品も楽しみました。繋がりが感じられてよかったです。友人と、本のチョイスが素敵だと話をしました。題名は忘れてしまいましたが、モンゴルの食が想像できる読んでみたくなる本でした。
京都府	無回答	40代	男性	企画展の満蒙開拓団が充実していて素晴らしかったです。これだけ資料があれば、ぜひ本にして欲しいと思います。豊岡の市民の方々中高生など、もっと知られて欲しいと思います。展示解説も丁寧で大変勉強になりました。ありがとうございました。

兵庫県	西宮市	60 代	女性	高橋村の自決について少し理解できてよかった。 映画”大川村...”をみてとても気になっていた。 身近な所に悲劇があったことに、戦争の怖さを改めて感じた。よい企画展をありがとうございました。
兵庫県	豊岡市	50 代	男性	久しぶりに入館しました。経年劣化した部分も見受けられる建物と展示物もありましたが、今も十分見応えがあり、実際にモンゴルに行きたくなりました。また、今回行こうと思った1番のきっかけとなった開拓団の企画は、地元の者として、胸に詰まる思いで見させていただきました。満州からの近況を恩師に伝える手紙や当時の人々の暮らしぶり、希望、不安、葛藤といったことが展示物からも見てとれ、この地域の先人の皆さんのことを心から労りたい、また誇りに思えたり、国策の前に無念の死を遂げた先人の方々のことを考えると身内のことのように悔しさも込み上げてきました。色々な思いが湧き上がる中で、あらためて但東の地で人生を大切に丁寧に生きていこうと思えました。素晴らしい企画をありがとうございました。
大阪府	大阪市	40 代	男性	但東の歴史をもっと詳しく知りたいです
兵庫県	養父市	60 代	女性	この博物館は道路沿いで車で通る事もあり子供が小さい時に来た様な気がします。モンゴルについては朝青龍や VIVANT、独特な住居位しか思い浮かず地図上の位置もよく分かってませんでした。今回来させてもらい少しですがモンゴルについて理解出来たように思います。
香川県	綾歌郡	50 代	女性	初めての来館でした。SNS で、モンゴルの歴史がよく分かって言っていた方がいました。帰り道の途中だったので、ちょっと寄ってみようと思って寄りました。ある意味、期待を裏切ってくれました。(笑) モンゴルの歴史だけでなく、色々考えさせられる事が沢山あって、今の若い人にも知ってほしいと思います。勿論、年配の人にも。勉強になりました。ありがとうございました。
京都府	無回答	60 代	女性	モンゴルの常設展 とても楽しめました。 企画展、大変興味深かったです。近いところで満州開拓団で悲劇的なことが起こっていたとは知りませんでした。地元の近いところでの情報がもっとあるとさらに良かったと思います。

兵庫県	豊岡市	40 代	女性	息子のモンゴル博物館出前授業での延長で来館しました。 衣装を着れたり、本物のゲルや家具などが再現されており、モンゴルの方の生活がよく分かってとても面白かったです。 最後に馬頭琴を体験させていただき、貴重な体験をする事ができました。 職員さんにも丁寧に対応していただきました。 ありがとうございました。
兵庫県	豊岡市	70 代	男性	モンゴル展ーよくこれだけの物品をあつめられたものだ関係者の努力にまず感謝します。 高橋村の展示ー生々しい資料にしっかり体感できました。私も引き揚者として2才の頃に奉天から帰国し、父、母から色々戦争の悲惨を聞いています。高橋の人たちがいかに生きのびようとして色々工夫したり力を合わせたりよくわかりました。あやまった国策が二度とないようにもっともこの経験を子供たちへ又広く広げていくことを痛感します。
兵庫県	豊岡市	60 代	男性	企画展、よかったです。キャプションがよくわかり勉強になりました。大東亜省から”指導郡”として上から指定されたということ、但馬から意外に近く、4～5日で蘭西県まで行けたこと、「私も行くからあんたも行ってくれ」と、集落の係の人が苦渋に満ちて人を集められたこと、全国の中でも高橋村の方々の死亡率は極めて高いこと、中堅層の方々がソ連参戦で応召され、高齢の人、女性、子ども達で逃げられたこと。途中、現地の人から攻撃を受けてケガ人続出で追い詰められていったこと、一旦逃げた蘭西城が安全でなく、土地かんのあるであろうホラン河の村の戻られたこと、等が具体的にわかり、イメージが持てたように思います。他の観覧者の方が「子どもが逃げんように手をしばったんだな」とおっしゃっていて、ハッとしました。今まで、あの世でも離ればなれにならないように手をしばられた。と思っていたので、そんなまやさしいものではなかったんだろう、たぶん観覧者の方のおっしゃったほうが当たっているだろうと思いました。 開拓前も清朝の時代からモンゴル貴族の土地が多く、貴重な土地であったこともわかりました。これ

				からも地域の公文書館として硬派、軟派いろいろな企画展を楽しみにしています。
京都府	福知山市	10 歳 未満	男性	初めて訪れましたが、モンゴルの異文化に触れられてとても楽しく、興味深かったです。子どもがスーホの白い馬を学習しているので、より身近に感じるきっかけにもなれましたし、馬頭琴とパーカッションの演奏に胸が熱くなりました。 ワークショップは残念ながら休憩時間で受けられなかったのですが、演奏を少し早めてその後にワークショップをする流れでもよいかなと思いました！良い施設なので、今後もイベント等で集客してほしいです！
石川県	金沢市	50 代	男性	企画展で馬頭琴を実際に触れるのはとても良いと思います。ギターと比較できるようになっているのも良かったです。
兵庫県	神戸市	30 代	女性	豊岡から福知山近辺で観光する場所を探していた時に偶然見つけたが、それまで博物館のこと自体知らなかった。市町村を超えての連携は難しい気もしれないが、山間部の立ち寄りスポットを点で繋ぐ形での周知など、せっかくの博物館なのでぜひ頑張ってください。
兵庫県	神河町	40 代	女性	仏画が良かった。仏像、仏画展があればまた足を運びたい。

9 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

平成17年4月1日

条例第179号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、写真会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器

具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。

(3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）

は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。

(2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。

(3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。

(4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。

(5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

- (入館の制限等)
- 第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。
- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
 - (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
 - (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者
- (行為の禁止)
- 第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。
- (原状回復の義務)
- 第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。
- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。
- (損害の賠償等)
- 第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。
- (委任)
- 第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。
- 附 則
- (施行期日)
- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の

日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成8年但東町条例第21号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成19年12月26日条例第66号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成26年3月28日条例第8号）

抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月27日条例第14号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（令和元年12月25日条例第26号）

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）		備考
	個人	20人以上の団体	
一般	500円	400円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学生	300円	240円	
小学生中学生	250円	200円	

別表第2（第7条、第11条関係）

区分	使用料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,600円	2,100円	
体験交流室	1,300円	1,700円	1,700円
天幕住居（ゲル）	1基につき5,300円		
備考	冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。		

10 施設概要

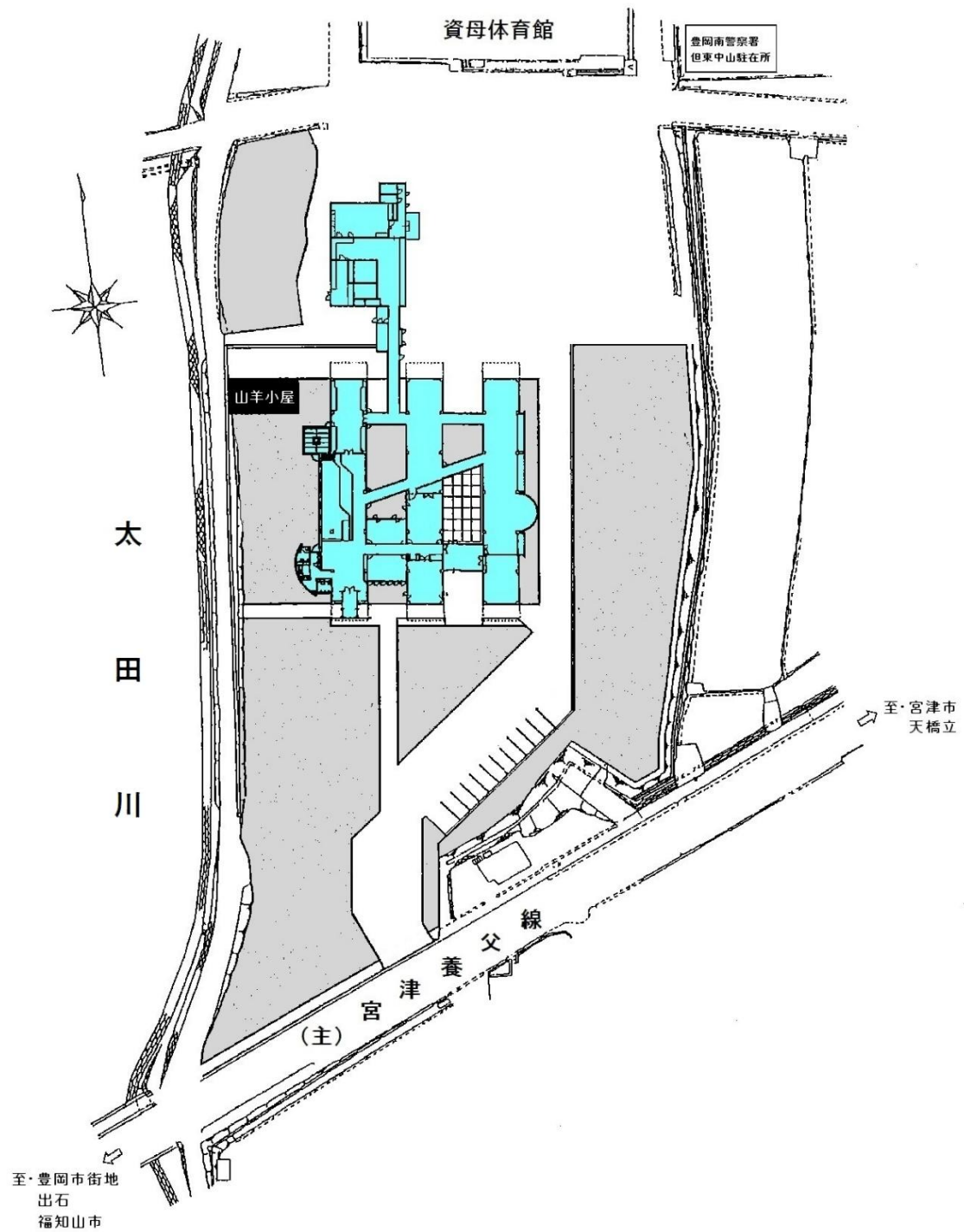
(1) 本館建設概要

ア 位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
イ 基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
ウ 実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
エ 工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
オ 工 期	建物 着工 平成 7 年 12 月 14 日 竣工 平成 8 年 8 月 12 日 展示 着工 平成 8 年 5 月 7 日 竣工 平成 8 年 10 月 30 日
カ 敷地面積	10,402.84 m ²
キ 建築面積	999.65 m ²
ク 構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨(KTトラス)
ケ 各室面積	玄関ホール・たんとうの森:211.6 m ² 、 収蔵庫 1:54.6 m ² 、収蔵庫 2:56.5 m ² 、 荷解室:33.3 m ² 、応接室:28.0 m ² 、 事務室:33.3 m ² 、資料整理室:48.2 m ² 、展示室「アジアの歴史と風土」: 75.5 m ² 、展示室「モンゴル草原の暮ら しと文化」:206.8 m ² 、展示室「モン ゴル草原のいのり」:37.7 m ² 、企 画展示室:74.4 m ² 、シルクロード回 廊 1:13.3 m ² 、シルクロード回廊 2: 13.3 m ² 、シルクロード回廊 3:12.6 m ² 、 シルクロード回廊 4:12.6 m ²
コ 建物規模	平屋建て:東西 41.8 m ² 、南北 42.5 m ² 、 地上高 9.0m
サ 仕 上 げ	〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床:モルタル下地タイルカー ペット貼 壁:山本窯業化学テラックス、石膏 ボード、化粧合板 天井:杉小幅板、岩綿吸音板貼

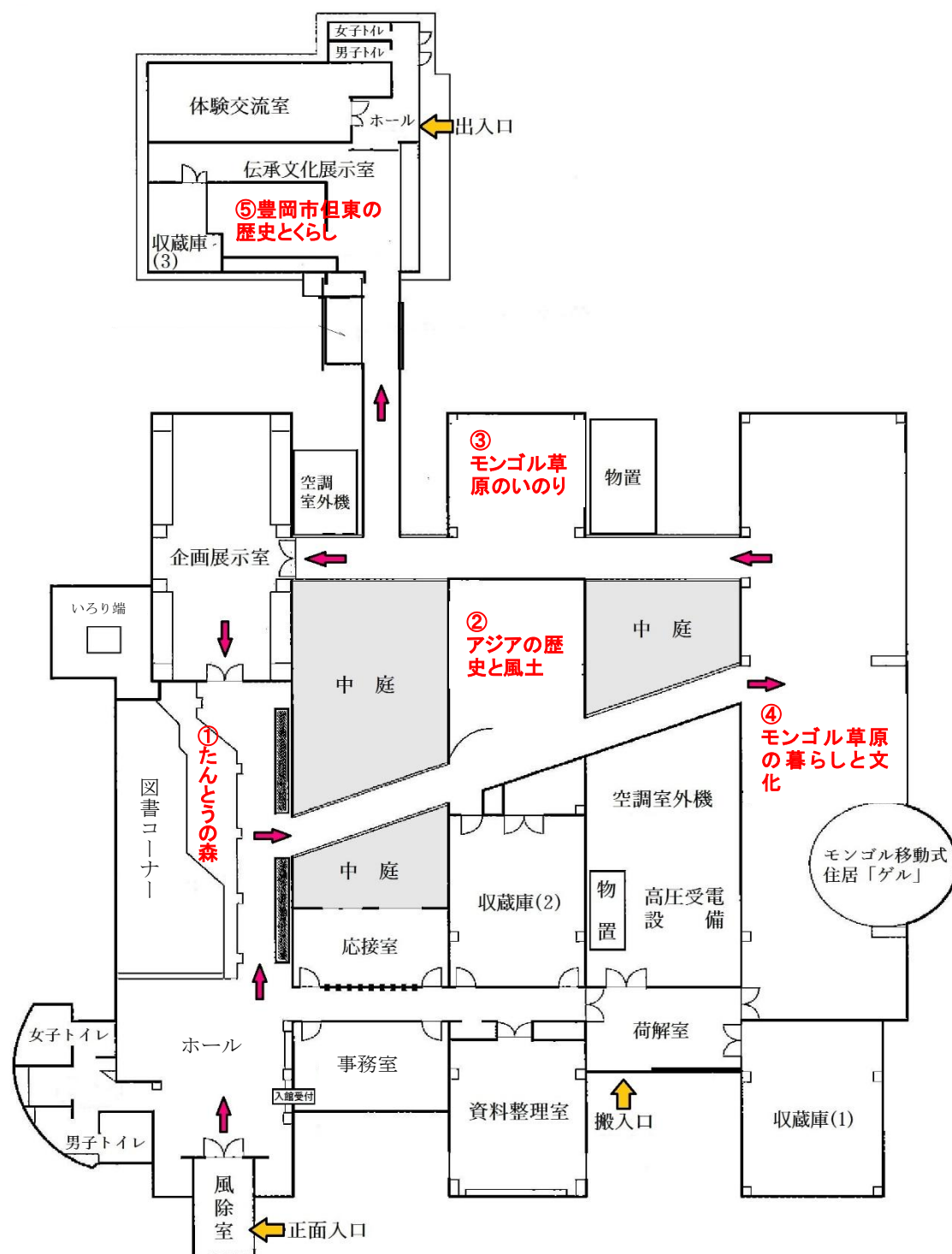
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

ア 位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
イ 基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
ウ 実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
エ 工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
オ 工 期	建物・展示 着工 平成 11 年 9 月 14 日 竣工 平成 12 年 3 月 29 日
カ 建築面積	371.57 m ²
キ 構造概要	木造一部鉄筋コンクリート造瓦葺
ク 各室面積	体験交流室:62.6 m ² 、展示室「豊岡 市但東の暮らしと文化」:112.5 m ² 、 収蔵庫:27.2 m ² 、シルクロード回廊 5:36.4
ケ 建物規模	平屋建て:東西 12.8 m ² 、南北 21.2 m ² 、 地上高 7.1m
コ 仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床:モルタル下地タイルカー ペット貼 壁:ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井:化粧PB貼、一部杉板貼

(3) 配置図



(4) 館内図



11 交通案内



■JR(山陰線)で

豊岡駅からバスで約 60 分 出石で乗り換え(奥藤行き)

モンゴル博物館前下車

■お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山 IC から約 55 分

京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路 与謝天橋立 IC から約 25 分

姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 八鹿氷ノ山 IC から約 45 分

12 利用案内

■開館時間 9 時 30 分～17 時(入館は 16 時 30 分まで)

■休 館 日 水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

展示替えのため臨時休館あり

■入 館 料 一 般 500 円(400 円)

高校・大学生 300 円(240 円)

小・中学生 250 円(200 円)

※()内は 20 名以上の団体の場合

※障がい者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※兵庫県内の小・中学生は、ココロカードの提示により無料

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第 27 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.27(for the fiscal years of 2025)

2026 年 3 月 31 日発行

編集・発行 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

e-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp